

「安楽死」について、日本では超党派で国会議員連盟が形成され、法制化への準備が進んでいます。海外では、例えばオランダやアメリカの一部の州では、すでに合法化されています。「安

楽死問題」はとても現代的な問題であり、また、「安楽死問題」は自分の人生の終着点に位置する問題でもあります。どう生き、どう死ぬのか、考える時が来ているのかもしれない。

RIGHT OF SELF-DETERMINATION

各パネルタイトル紹介

EUTHANASIA

AUTONOMY
BIOETHICS

6

外国法に見る安楽死
— 比較法的観点からの考察

5

生命倫理の大変革
— 安楽死の衝撃

4

死とは人生の「終焉」なのか？
— 安楽死に対する諸外国の様々なスタンスとその根底の考え方

3

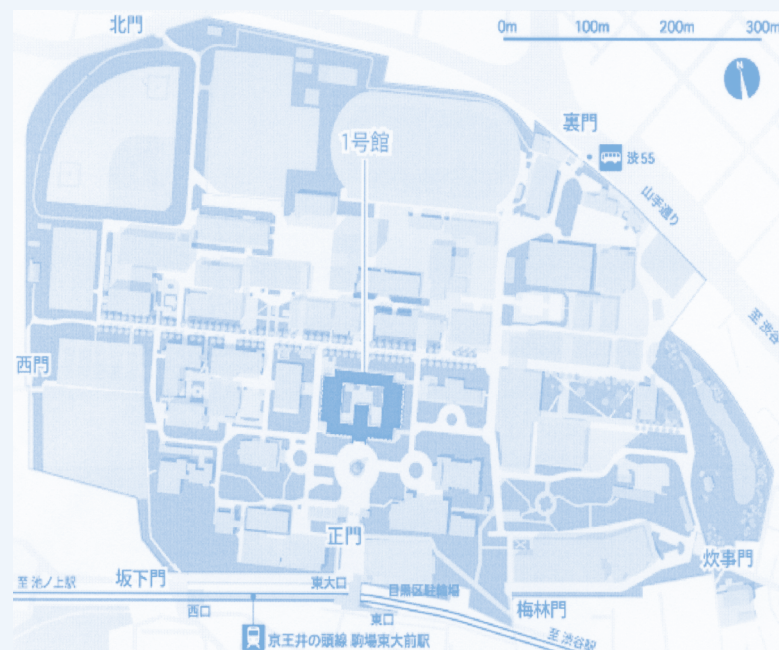
安楽死問題の法的考察
— 日本における法的論点と法制化の動向

2

「自己」とは何か？
— 自己決定権に関する思想的考察

1

生々から見つめる安楽死
— 「生きたい」と「死にたい」の対話



会場 | 東京大学駒場キャンパス
(京王井の頭線 駒場東大前駅下車)
1号館150教室 (2階)
(時計台のある建物)

日時 | 2012年11月23日(金)祝～25日(日)
9:00～18:00 (最終日は17:00まで)

主催 | 東京大学現代社会研究会
HP <http://gennsyakenn.web.fc2.com/>
連絡先 | E-mail gennsyakenn@mail.goo.ne.jp